

下出し述懐節(二揚)

二揚

「あ さ ゆう さ 四

中 ん 中 う 七 五 七 す

四 中、 五 中 七 五 工、 中、 五 七 ば

中 上、 四 ヨ 七 九 四、 八、 九、 七、 四、 中、

五 う 四 中、 工 が 中、 七、 四

中 み 七 四、 中、 五 中

五 七 五 工 中 「な り 五

七 す 五 七、 み 四、 中、 五 中 七

五 工、 中、 五、 七、 中、 上、 四、 七、 七、

四、 七、 七、 八、 七、 四、 九、 四、 八、 九、 七、 下、 尺、 七、 工、

とう 四 中、 七、 五 や 中 五 四、 七

四 九 四、 八、 九、 七、 下、 尺、 七、 四、 七、 七、 八、 た

下出し述懐節（二揚）

二揚

3/3

一、朝夕さん お側 拝み 馴れ初めの
里や 旅しめて 如何し待つが

終始にわたって、本来1拍表記で
ある部分を都合上、2拍で表現して
います

七八九の音位が続く部分は七を人
差し指、九を小指で押さえられる位
置に左手を置く。いわゆる尺位にす
る

「花風節」より繋ぐ